



八代工業高校電気科による「ものづくり」出前授業開催

11月17日(月)、2年生において八代工業高等学校電気科による出前授業を実施しました。この取組は、文部科学省のマイスター・ハイスクール事業の指定を受けている八代工業高等学校の電気科による電気教材の体験教室を通して、技術の授業で学習したエネルギー変換の内容を深め、電気に関する知識や技能に興味・関心をもたせることを目的に実施しました。

内容は、音に反応して発光ダイオードが点灯する電子器機(ボイスブリンガー)の製作でした。半田ごてを使い、抵抗器やトランジスタなどの部品を、はんだで基板に固定していく作業でした。初めは恐る恐る作業をしていた生徒たちも、高校生から丁寧に指導してもらうことで、次第に慣れてきたようで、全員が時間内に製作することができました。製作後は、このボイスブリンガーを日常生活のどんな場面で活用できるかをグループで検討するなど、しっかりと学びの振り返りも行いました。八代工業高等学校電気科の先生、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。



第八中学校区地域学校保健委員会を開催しました。



11月26日(水)、第八中学校区地域学校保健委員会を本校体育館で開催しました。宮地小学校の大住校長先生のご挨拶のあと、小中学校の各担当より「健康診断の結果」「体力テストの結果」を紹介しながら、これまでの成果や課題について説明がありました。

その後、たかの呼吸器内科クリニック院長の高野義久先生による、「デジタル・メディアとの上手な付き合い方」と題してご講演をいただきました。高野先生のお話の中で、ゲームやスマホは依存物の対象であることや依存症になってしまったら、回復はするものの一生治らないこと、ネットの頻繁な利用は脳の発達に遅れが生じることなど、研究結果のデータや医学的な見地からの説明がありました。スマホ・ゲーム障害対策は予防が最も大切であり、外で、リアルで、対面で遊ばせましょうと訴えられました。また、スマホの使用時間を減らす具体的な方法も紹介され、「スマホ画面をモノクロにする」ことはかなり効果があり、その設定方法まで紹介されました。当日は、本校の授業参観日でもあり、保護者の方々も多く参加していただきました。ご家庭でも配布資料等を活用しながら、スマホの適切な使い方について、今一度お子様と一緒に話し合っていたいただきたいと思います。



正しい情報を得て、冷静な行動を！避難訓練の実施

11月27日(木)6校時に、火災を想定した避難訓練を行いました。今回は、1年生は図書室に、2年生は教室に、3年生は体育館柔道場で授業が行われている設定でした。放送による火元をしっかりと確認した上で、通常とは異なる避難経路で避難しました。全員が避難したことを確認したのち、校長講評で、火災はいつ・どこで起こるか分かりません。火災に遭遇したら冷静に、まずは火元がどこなのかきちんと確認すること、正しい情報を得て避難することがとても大切になることを伝えました。



次に、水消火器を使って消火訓練を行いました。担当の濱田先生より消火器の使い方の説明の後、各学年3名の生徒に体験をしてもらいました。最後に、3年生の海老原大介さんが、これからストーブなど火を扱う際は十分注意していきたいと感想を述べてくれました。

